

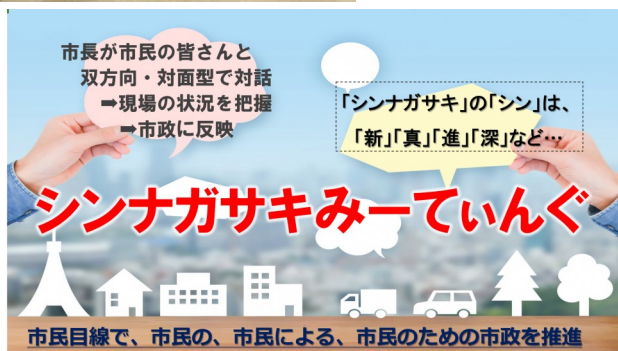
# シンナガサキミーティング開催レポート

## in 朝日小学校区



令和7年4月25日（金）、自治会や地域包括支援センター、PTA会の計16人の皆さまにお集まりいただき、朝日小学校区の「シンナガサキミーティング」を開催しました。

自己紹介では、自治会で行っている行事や、斜面地ならではの魅力や課題、朝日小学校区で暮らしていく中で感じていること等をお話いただきました。



## いただいたご意見

### ①町おこしの成功事例について

長崎市内での町おこしの成功事例を教えてください。

○中央 茂木地区では、49歳以下で茂木を盛り上げたい気持ちを持つ人（茂木地区の住民や関りを持った人）が集まり茂木若人の会をつくり、地域で行われる様々なイベントへ参加しており、茂木花火大会の復活の際には中心的役割を担いました。

○南部 地域の若者が有志で集まり構成されたメンバーで、ナナフェス、のど自慢大会の2つのイベント、カオス飯の1つの事業を実施しており、ナナフェスでは、愛唱歌を披露するステージイベントや地域のグルメの出展などが行われ、令和6年度には約13,000人が訪れました。のど自慢大会では、年代別の参加者を選出、優勝地区を決める大会を開催し、約650人の観客が訪れました。また地元の飲食店と連携し、かつのせちゃんぼんをはじめとしたインパクトのあるメニューをカオス飯として認定するとともに、情報発信及び販路拡大を行っています。

○東部 長崎大水害の犠牲者慰霊や復興への願いを込めて行われていた東部地区花火大会が令和元年度を最後にコロナ禍等の影響により中止となっていたことから、東長崎商工会青年部が中心となった実行委員会が子どもたちのため、地域経済を盛り上げるために何とか復活させたいという想いで協賛金集めやクラウドファンディングを行い、令和7年8月30日に6年ぶりの花火大会を復活させました。当日は50店舗を超えるキッチンカーやマルシェの出店もあり、2,000発の花火が網場漁港の夜空を彩り、約7,500名もの観客で大盛況に終わりました。

○北部 三重地区みなと祭りについては、三重地区で長年開催されたきた祭り管内の交流の場として位置付け、実行委員会に運営支援を行っています。子どもたちによるステージイベントや商工農業者の出店、打ち上げ花火を実施し、令和6年度には約20,000人が来場しました。北部地区マルシェについては、市の中心部で管内の飲食店等の出店、地域の魅力を情報発信するブースを設けたマルシェを開催し、令和6年度には約5,500人が来場しました。

市の考え方  
回答

## ②小学校の合併について

小学校の合併について、子供達へのメリットも感じられないため、合併して欲しくない。

市の考え方

回答

全国的な少子化の流れの中で、長崎市においても多くの学校で小規模化が進んでいる状況にあり、平成29年2月に策定した「長崎市立小学校・中学校における規模の適正化と適正配置の基本方針」に基づき、地区ごとに実施計画（案）を作成し、複式学級を有する過少規模校や老朽化の進んでいる小規模校を優先して学校規模の適正化と適正配置に取り組んでいます。

朝日小、飽浦小、稲佐小の統合については、複式学級編制が常態化している飽浦小、数年前に複式学級編制が見込まれる朝日小のいずれも、子どもたちの教育環境を整える観点から早急に学校規模の適正化に取り組むべき学校であり、小規模化が進んでいる丸尾中の淵中への統合も併せて、丁寧な説明と十分な協議を行い、理解が得られるように努めていく必要があります。

今年度の取り組みとしては、この地区における児童生徒数の状況や将来推計等について、教育委員会から対象校の保護者に向けて、直接説明を行う機会を設ける予定です。

## ③スポーツや勉強ができる環境づくりについて

スポーツの指導員不足等により、小学校、中学校でやりたいことができる環境がないため、子ども達がやりたいことができるよう考えて欲しい。

市の考え方

回答

現在、部活動の地域移行を進める中でスムーズに移行が実現できるように、指導者や練習場所の確保に努めています。

また、公益財団法人長崎市スポーツ協会には45の団体が加盟していますので、行いたい競技があれば、加盟団体に相談いたします。

## ④空き地や空き家について

市内には空き地や空き家が非常に多く存在しているが、行政としてどのような方針を立てているか。

市の考え方

回答

長崎市では、老朽化し危険である若しくは危険となる恐れがある空き家を、所有者が解体する場合に工事費の一部（最大50万円）を補助する制度を設けています。

また、近隣の危険な空き家については、市が現地確認、所有者調査を行い、所在が判明した所有者に対して文書送付等の指導等を行います。

まずは、建築指導課（電話095-829-1174）へご相談ください。

そのほか、「自治会への加入を促進して欲しい」、「空き家バンクの登録を促進して欲しい」、「高齢者交通費助成のポイント運用を見直して欲しい」等のご意見をいただきました。

いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後の市政運営に活かしていきます。

## 鈴木市長のひと言

朝日小学校区の課題や魅力を聞くことができました。ここの魅力をもっと発信できるようになりたいです。また、様々な課題について少しでも解決して、皆さんの暮らしがよくなり、長崎のまちが今以上に住みやすいまちになるようにしっかりと取り組んでいきたいです。



## 参加者からの感想

前向きに地区の魅力を伝え、引っ越ししてくれる人達を増やしたいと思った。

鈴木市長が親身になって答えてくれたことに好感が持てた。

他の区域の問題、現状などを直接聞くことが出来、大変良いことだと感じた。また、対応なども即聞くことができ、若干安心した面もある。

地域の活性化に若い人の力をプラスする事に、自治会からの呼びかけが必要ではないだろうか。1回限りのミーティングなのか？定期的に開催してほしい。

